

## 堺区 区域まちづくり事業 事業概要

事業名称	ひとり暮らし高齢者等あんしん事業
事業目的	堺区のひとり暮らしの高齢者は約1.5万人、要介護認定者数は約1万人で7区で最多となっている。高齢者や支援者に役立つ情報を発信し、高齢者の安全や救急支援につなげることを目的とする。
事業内容	<p>1.「見守りミーティング」を大学講師等を招いて開催するとともに、その内容や高齢者への啓発情報を掲載する「はーと通信」を発行する。</p> <p>2.高齢者が緊急時に備えて、かかりつけ医や緊急連絡先などを書いておく「安心連絡シート」の活用を促進するため、「安心連絡シート」をクリアフォルダーに入れて冷蔵庫内で保管し、冷蔵庫内にあることを表示する扉に貼るシール(安心連絡フォルダーセット)を配布することで、救急隊等が速やかに救助活動が行えるようにする。</p>
実施場所	
実施時期	1. 令和3年1月頃開催、令和3年3月頃作成    2. 令和元年度作成 配布中
事業主体	堺区地域福祉課・基幹型包括支援センター・地域包括支援センター
事業効果	<p>①危機介入の迅速化と当事者の安全の確保</p> <p>②ネットワークを構築することで虐待、認知症の早期発見、安否確認(孤立死・災害時)</p> <p>③民間事業者も含めた見守りネットワーク構築で区民への安心感を与える</p> <p>④官民協働のまちづくりで区と事業所のイメージアップに繋がる</p> <p>⑤区民・事業所への孤立予防や認知症理解の啓発</p> <p>⑥安心連絡フォルダーセット配布による緊急時の救急搬送等の時間短縮</p>
活動指標	安心連絡フォルダーセットの配布数 救急隊によるシートの確認数
備考	